

## ■南アフリカ：南アフリカ、原子燃料製造プラントの建設を計画

2009年4月21日、南アフリカ原子力公社（Necsa）の研究開発責任者であるヴァン・ジル・ド・ヴィリエ氏は「私たちは原子燃料サイクルへのさまざまなフェージビリティ・スタディを終えており、次のステップは、実験プラントを建設することである」と発言した。国有電力会社 Eskom は今年、国内2番目となる原子力発電所の建設計画を中断したが、政府は電力不足の解消と、石炭への依存の低下を目的として、原子力発電所建設を計画している。また、政府は燃料供給について地元企業の参加を希望しており、ウランの転換、濃縮および燃料製造に関する調査を Necsa に委託した。ヴィリエ氏は調査の結果について、「将来の産業規模および国際進出の程度にもよるが、燃料サイクルの幾つかの部分について、経済的妥当性が示されている」と述べている。